

TIC NEWS

vol. **112**
2014.7

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail: tic@tic-toyama.or.jp

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>



中国の仏教五大聖地の一つといわれる鞍山市の千山

～富山県・遼寧省友好提携30周年～

今年友好県省30周年記念を迎える富山県と遼寧省。今年は富山県大連事務所が開所してちょうど10年ともなる節目の年を迎えます。

平成26年度国際交流・協力、多文化共生担当市町村課長等会議

日時：平成26年6月5日(木)

場所：環日本海交流会館

富山県内の市町村、国際交流協会の連携と、国際交流・協力、多文化共生事業の促進を目的に富山県、国際協力機構（JICA）北陸支部ととやま国際センターが共催で開催しています。

富山県からは平成26年度の県国際・日本海政策課所管事業の概要と多文化共生関連事業等について、当センターからは、市町村と連携して進めている事業を中心に、災害時外国支援防災研修事業などを説明しました。国際協力機構北陸支部の市民参加協力事業などJICAが進めている国際協力事業についての説明の後、最後に氷見市からCIR（国際交流員）を活用した取組み事例について報告があり、富山県内の国際交流を担当している市町村、国際交流協会と情報交換を行いました。



国際交流員より離任のご挨拶！

堀口 陽世 さん（アメリカ）

2011年の1月に着任したとき、富山は真っ白の雪に包まれていました。

私は雪がたくさん降るところに住むのは初めてで、感動させられる風景でした。最初のころは日本語が不慣れで翻訳や通訳が多い仕事が大変でしたが少しずつ上達することができたと思います。仕事面で最も印象的であった経験はやはりオレゴン州との友好交流事業に関わったときでした。2回のオレゴン出張、スピーチコンテストや教員・職員派遣事業のお手伝い、オレゴンからの学生と五箇山に行ったことなどが一番有意義な時間であったと感じます。

この3年半で県内各地の観光地を訪れました。中では有名な立山登山がとても楽しかったですが、上市町にある日石寺や、知名度が比較的低い山など、あまり観光地として知られていない場所も富山の最も好きな場所に入ります。

日本に住んでいる間、昨年に永住帰国して福岡に引っ越した父や、大阪の親戚とも時間を過ごすことができとても良かったです。任期を終えたら、もう少し家族と過ごして、もう一回日本を旅行して、それからしばらくオレゴンに戻ってオレゴンの最高の夏を楽しみます。

皆さん、長い間お世話になりました！本当にありがとうございました。



国際交流員より着任のご挨拶！

きむ しゅ ひ 金 珠熙 さん（韓国）

はじめまして。韓国の首都、ソウル特別市から参りました、金珠熙と申します。

私が生まれ育ったソウルは、李氏朝鮮時代（1392～1910）から今日まで600年以上、韓国の首都として栄えた街です。ソウルの中でも李朝時代の正宮である景福宮の近くにある倍花女子高校を卒業後、ソウル女子大学校で日本語と日本文学、経営学を学びました。2007年度は、母校と協定校である兵庫県の神戸親和女子大学で1年間交換留学をしました。それからは、翻訳や通訳の仕事をしてきました。

日本に住むのは6年ぶりで、しかも北陸は初めてで、ドキドキしています。これまで私にとっての富山は、立山黒部アルペンルートの雪の大谷と高岡の大仏でした。でも、今はそれだけでなく、綺麗な山と海、美味しい海の幸、親切な人々、富山に着いてすぐに、富山のことが好きになりました。

とやま国際センターでは、韓国語の中級講座を行っています。皆さんに韓国語に触れていただくために、授業では、できるだけ韓国語を使おうとしています。そのため、少しレベルの高い授業になってしまうかも知れませんが、皆さんには楽しく韓国語を勉強していただけたらと、思います。これから、よろしくお願いいたします。



しょう いつめい 鐘 一鳴 さん（中国）

皆さん、ニーハウ！（こんにちは！）中国遼寧省の鞍山市から参りました鐘一鳴と申します。以前、仕事の関係で、富山県大連事務所を訪問したことがあります。その時事務所に貼ってあった、立山の高さ20メートルの雪の大谷のイメージがずっと心の中に残っています。今回、国際交流員として富山県で仕事させていただくことができ非常にうれしく思っております。

出身地の鞍山市は千座の山が大地に座る「千山」風景区というところがあります。山と言え、どれも一緒だと思っていましたが、4月11日に富山空港に着いた時、やはり雄大な立山連峰に震えてしまいました。目の前には満開の桜が咲いていて、背後に高くそびえている雪山が延々と途切れなく続いている様子はまるで綺麗な風景画だと思いました。また、今年「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟することが内定している富山湾も有し、山から海までの美しさをすべて一つの県に集めた、まるで桃源郷のように思われます。



これから私はできる限り富山県の美しさ、雄大さ、豊かさ、そして食べ物の美味しさと県民の優しさを、より多くの中国人に紹介したいと思います。また、今年は遼寧省と富山県が友好関係締結30周年の節目の年で、これまでの友好事業に基づき、両県省が更なる活発な交流と協力を推進するため、より広く分野での協力点を掘り出すように自分の力をささげたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

こう びん 黄 敏 さん（中国）

みなさん、ニイハウ！ 黄敏と申します。上海から参りました。神戸大学に6年間留学していましたが、富山は初めてです。けれども、富山とはご縁があります。大学院時代の恩師である三上教授は富山の出身で、何度も幼いころの思い出話をしていただきました。だいたい「子どものころ、いたずらしておばあちゃんに豪雪の中に投げ出された。」と「ホタルイカの漬物は美味しかった。」という2つの内容でしたが、60代の先生は6か月に1回ぐらいこんな話をするのは、いま考えたらちょっと不思議な感じです。

今回貴重なチャンスが訪れ、私は国際交流員として、恩師の故郷で1年間勤務することができて、感動と嬉しい気持ちでいっぱいです。来県初日にさっそくホタルイカを味わうことができ、また翌週には雪の大谷に行くことができました。富山は自然に恵まれていることが実感できました。思わずこの豊かで雄大な土地に愛着が湧き出しました。

富山はどこにも負けない魅力を秘めています。富山の素晴らしい美景、美食また長い歴史や文化などをより多くの中国人に紹介し、より多くの人が万葉集の故郷・富山のことに関心を持っていただけると嬉しいです。微力ですが、先生の気持ちを受け継ぎ、富山の観光業や国際交流事業を一層推進させるため、一生懸命頑張ります。富山の皆様、応援してくださいね。どうぞよろしくお願いいたします。



富山県・遼寧省友好提携30周年

富山県と中国 遼寧省は1984年に友好県省が締結され、今年で30周年になります。以来訪問団、研修員・留学生の相互派遣、教育機関、医療機関、企業等の中で活発な交流が行われてきました。

中国 遼寧省は、面積は富山の約34倍、人口も富山の約41倍あり、東北三省でも最も人口の多い省です。日本に在住する中国人の約3割以上は東北三省の出身者といわれていて、中でも遼寧省出身者が最も多くなっています。また遼寧省は少数民族人口の割合が高い省であり、満族、モンゴル族、回族、朝鮮族、シボ族など43の民族が住んでいます。

教育普及率と進学率は高く、高等教育の普及率は中国最高と言われています。重工業が盛んな地域で自動車・航空機産業、近年ではIT産業も盛んになってきています。

富山県と遼寧省の間では、友好提携以来、訪問団の相互派遣、職員・留学生の相互派遣、技術研修員の受入れ、奨学金の支給など、各分野にわたって活発な交流が行われてきました。

今年度は友好県省30周年記念事業が予定されているほか、10周年を迎える富山県大連事務所の記念式典なども予定されています。



中華人民共和国 遼寧省

省都：瀋陽

面積：145,900 km²

人口：約4,389万人(2012年末)

～富山県・遼寧省友好提携30周年 富山に住んで14年

(公財)とやま

2000年3月に富山に来ました。働いていました。日本は好きな国は本当に大変でした。子どもが小

生活に慣れてきた頃、中国人研

き自分の日本語が飛躍的に上達し
私たちが富山に来た頃は、中国、
富山県内の企業に就職し、住宅を
ているように思います。

2人の子どもは小学生になり、
日本は赤団、白団などのグループ
教室内で公表しますが、日本はそう

私の出身地、瀋陽は古い歴史を
目をあげれば綺麗な立山連峰が見

富山に来て自分の視野が広くな
の文化の良い面を吸収し、国際的
ています。

皆さんも人の話を聞くだけでは
と思います。

国際交流員 鐘 一鳴さんに聞くー“遼寧省のあれこれ”

Q. 遼寧省ってどんな所ですか？

A. 遼寧省は中国の旧工業地帯として栄えました。瀋陽、大連と続いて3番目の“鉄鋼の都”と呼ばれる鞍山から、私はやってきました。1918年南満州鉄道の出資で鞍山製鋼所が建設され、その後満州国時代には昭和製鋼所となって栄え、現在では鞍山鋼鉄集団として世界的にも有数の粗鋼生産量を誇っています。

Q. 遼寧省の省民性について教えてください！

A. 遼寧省の人は体が大きいだけでなく、気が強く声も大きいとも言われています(笑)。気候が寒いことも関係するかもしれないですが、頑張り屋で、細かいことは気にせず、くよくよしない人が多いと言われています。遼寧省からはたくさん有名なスポーツ選手が出ています。卓球の世界ランキングで常に上位を占めている馬龍、李曉霞、郭躍、これらの選手は遼寧省出身です。福原愛選手は遼寧省の卓球チームに所属していたことがあり、彼女は生粋の東北弁を話すことができます。中国の子どもは卓球、バドミントン、バスケットボール、サッカー等が好きですが、寒い遼寧省では冬にはスケートもよくします。



Q. 遼寧省のお勧めの食べ物はありますか？

A. 盤錦市の盤錦米が美味しいのは有名です。またお酒の強い人の多い遼寧省で愛されているのは“老龍口”などの大変強いお酒です。寒いので肉を食べて体を温めます。肉段、鍋肉などの肉料理をよく食べます。

北京オリンピックで選手にふるまわれた牛莊餛飩という料理は鞍山市内の海城市の伝統料理で美味しいですよ。ところで、中国では料理上手な男性は人気があります。中国にいる三歳の息子にいつも料理を作っているのは夫です。中国では男性人口の方が多いため結婚相手を探す



年に寄せる～ 年、今想うこと

国際センター 語学講師 劉 楠 さん



富山大学に留学していた夫が富山で就職することに決まり、幼い長女を連れて日本にやってきました。結婚前は遼寧省人民芸術劇院等でしたが、まさか自分が日本に来ることになるとは思ってもいませんでした。日本語は全く勉強したことがなかったので、日本に来た時さかだったので日本語教室に行くこともままならず、結局テレビや本で自分なりに勉強するしかありませんでした。

修生の通訳をする仕事に就きました。社長が素晴らしい方で、自分の不十分な日本語にも関わらず優しく接してくださいました。このように気がします。

人留学生は留学後に帰国するケースが多かったですが、最近では卒業後、購入したりして、地元の人と同じように暮らしている中国人が多くなっ

た日も運動会に行ってきました。中国の運動会は個人種目が多いですが、に分かれたりして団体競技が多いです。学校でも中国の場合は成績順をうではありません。日本ではチームワークを重視する傾向がありますね。持つ中国東北部の政治・経済の中心となっている街です。一方、富山はえ、耳を澄ませば小鳥の声が聞こえる葉書のような美しい街です。

ったと思います。中国語、日本語の両方を話す子ども達には、それぞれに活躍してほしいです。そして日中友好の懸け橋になってほしいと思っ

なく、実際に足を運んで現地に行って中国の文化を感じとって頂ければ



瀋陽の街

ことは男性にとっては大きな問題です。ライバルに差をつけるため料理の腕を磨く男性も多いです。外国人の奥さんも多いですね。中国では何故か日本人の奥さんをもらおうと絶対幸せになると言われています。

Q. 遼寧省で、どのように日本語を学ばれましたか？

A. 大連外国語大学に入学したときは実は英語を学びたかったんですが、日本語科の評判の良さ、先生からの勧めもあり、日本語を選択することにしました。日本のアニメもたくさん見ました。ドラえもんや宮崎駿作品は中国でも大人気です。大学時代の教科書には日本はプレッシャーの大きい社会で日本人も真面目な人と書いてありましたが、実際の日本人と付き合いときは親しみや優しさをまず最初に感じます。物事を積極的に捉え、力を尽くして頑張るという姿勢が素晴らしいですね。

Q. 遼寧省では今どんなことが人気がありますか？

A. 旅行を楽しむ人が多いと思います。東北三省の人には人気の場所は広州、上海、チベット、四川省、雲南省など、やはり南の方になりますね。私も家族でドライブに行ったりするのが好きです。中国の学生にとってはやはり勉強が中心です。都会育ちの子ども達には、学校がファームステイなどを企画します。普段触れることのない自然や農作業を体験し強い心を養うのが目的です。また高校のときは北京へ修学旅行にいて、北京の有名な大学を視察したりします。中国は18歳で成年を迎えますが、天安門の前で成人式を行って、将来何をしたいか皆の前で宣言したりするのも恒例のイベントになっています。



天安門前の成人式の様子

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2014」作品募集!



開発途上国の問題や国際協力について、考えていることをエッセイに書いてみませんか?

身近な生活の中にも、あなたと世界とのつながりが沢山存在しています。学校の授業、友達との会話、地域での出会い、本や新聞、テレビを通してなど、自分自身の体験をテーマに沿って自由に伝えてください。

◆上位入賞者には副賞として、開発途上国への海外研修が準備されています!

【対象】 中学生・高校生

【テーマ】 「つながっている、世界と私

—未来のために私がしたいこと—

【募集期間】 2014年6月12日(木)~2014年9月11日(木)

【問い合わせ】 JICA北陸 開発教育支援担当 木水 (きみず)

TEL: 076-233-5931 / FAX: 076-233-5959

E-mail: Kimizu-Tsutayo.2@jica.go.jp

全国表彰に輝いた先輩から一言!

2013年度 高校生の部

優秀賞 吉本 映里奈 さん

(受賞当時 富山高等専門学校

射水キャンパス3年)

エッセイコンテストは今自分を取り巻く環境や世界で起こっている様々な物事を見つめ直す良い機会になりました。今でも心に残っていることやいつも考えていることなどを言葉にし、書いて形にすることできっと新しい発見があると思います。

◆受賞作品は「JICA地球ひろば」ウェブサイトでもご覧になれます。

<http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/essay/2013/index.html>

◆「エッセイコンテスト2013優秀作品集」をご希望の方はJICA北陸へお問い合わせください。



JICAボランティアからの現地レポート

今回は中華人民共和国から届いた青年海外協力隊員 松木 菜実 さんからの便りをご紹介します。

朝起きて外へ出ればおじさんが池の傍で太極拳をし、近所のおばちゃんに出くわすと「今から出勤? 暇だから一緒に行きましょう」と活動先までついてきてしまい、肉まん屋に行けば、「相も変わらずあなたの中国語上手いわね」とおばちゃんから声をかけられ、とこんな風に私の毎日は始まりました。

中国の最も南、ベトナムとの国境に位置する広西チワン族自治区の桂林で、3月に活動を終え帰国しました。病院は近所の人々が来る小さな病院です。主に脳卒中の患者さんに作業療法士として毎日リハビリを提供しました。南方なので中国というよりも東南アジアのような雰囲気が漂い、病院の中も不思議と陽気な空気に包まれています。リハビリ室には患者さんのほか付き添いの家族たちでいっぱいです。リハビリの順番を待っている間に患者さんの家族どうしがトランプや中国将棋をはじめだし盛り上がっていたり、冗談を言ってそこにいるみんなが笑ったり、だれか助けを必要としている人がいれば家族でなくとも関係なく手伝ったりと本当に温かく居心地が良い環境でした。

日本と中国、もちろん私が日本人だから、それだけで落ち込む経験も時にはありました。でもその中で私自身を見られる人も多く、お互い歩み寄り尊重し、相手の良い所を取り入れようとする姿勢が活動を上手くいかせるきっかけとなってくれました。「国どうしは問題があっても私たちの関係には関係ないよ」こう言って私を受け入れてくれた人々に支えられ、今後は私の中国での経験を周囲に伝えていければと思っています。

「你好善良(あなたはとても善良で純真ね)」桂林に来て多くの人にこの言葉を言われました。その度に日本人として嬉しく、これが一番好きな言葉になりました。

2年間の中国での経験は、これから先私の人生における大きな支えとなってくれるでしょう。



松木 菜実さん

派遣国: 中華人民共和国

職種: 作業療法士

派遣期間: 平成24年3月~平成26年3月

配属先: 広西桂林市中医医院

マルセーロ・ユウジ・ヨシダ さん

Q. どんなお仕事をされていますか？

A. 今はサンパウロ市にあるアメリカ医療企業の物流部門で働いています。整形外科手術等に使う器具を生産している企業です。



Q. 近況を聞かせてください。

A. 今年はとても忙しいです。機械生産エンジニアリングで二つ目の学士をとろうとしていること、そして仕事も忙しく、ワールドカップもあるからです!!
ブラジル人は観光客を迎え、サッカーを観戦することを楽しみにしています。私自身は日系人なので、特別な思いを抱いている日本、そしてもちろん母国ブラジルを応援します。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 2012年に県費留学生として富山国際大学に留学しました。ブラジルに帰ってから既に2年が経ち、見に行った場所、美味しい食べ物、特に富山で作ったたくさんの友達のことを懐かしく思っています。私は既に日本には住んでいませんが、富山県人会のイベントをよく手伝っています。7月には“日本祭り”があり、富山ブースでコロッケやスキヤキ丼を売ったりします。今年は3回目の参加となり、楽しみにしています!



今年5月にできたアレナ・デ・サンパウロ。
W杯開幕戦でブラジル代表がプレーする。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 富山の皆さんお元気ですか？ 富山の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいです。富山にいた時間は短いですが、たくさんのことを習い、たくさんの友達を作りました。また富山に行って皆さんに会うこと、そして皆さんがブラジルに来てくれることを待っています。大歓迎しますよ!

平成26年度草の根国際活動助成団体決定!

とやま国際センターでは県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対し助成しています。平成26年度助成団体は以下の団体に決定しました。

	団 体 名	事 業 名
1	公益財団法人 富山YMCA	地球市民育成事業 カンボジア・ベトナムピースキャンプ
2	Toyama AJET	ドキュメンタリー映画「ハーフ」の自主上映会・多文化共生ディスカッション
3	おりがみ“遊々”の会	日韓おりがみ交流会
4	NPO法人 高岡鳩の会	渤海大学日本語弁論大会
5	富山国際大学国際交流サークル	ムラブリ寄り添いタイ

焼茄子 (シャオチェズー)

中国には古くから“薬食同源”の考えがあり、旬の野菜を食べるのは養生の一つです。盛夏を迎える今の旬の野菜にナスがあります。ナスは体を冷やす作用や解毒の効能があり、夏バテ予防には欠かせない食材の一つです。中国では紫色だけではなく緑色のナスもよく食べます。

～作り方～

1. 生姜を千切り、ニンニクをみじん切り、唐辛子を輪切りにしておく。
2. ナスのへたを切り落とし、乱切りにする。
3. 2 に塩を入れ5分ぐらい置く。
4. 【A】の調味料をあわせておく。
5. 3 の中に卵白を先にいれてから小麦粉を入れてよく混ぜる。
6. 5 のナスを180度に熱した油で一つずつあげる。
きつね色になったら取り出す。
7. フライパンに少量の油を入れ、唐辛子、生姜、ニンニクの順番で炒め、香りが出たら【A】を入れ、水溶き片栗粉を混ぜ、とろみをつける。
8. 6 の揚げナスを加え、混ぜたら出来上がり。



～材料～ (2人分)

ナス…………… 中2本
生姜…………… 5g
ニンニク…………… 15g
唐辛子…………… 1本

【A】

油…………… 15g
酢…………… 15g
砂糖…………… 10g

卵白…………… 1個分
小麦粉…………… 40g
片栗粉…………… 少々
油

TICからのお知らせ

これからの行事予定

災害時における「やさしい日本語」情報提供研修会

- 6月14日(土) 18:30～20:30
「ワイワイにほんご・たいこうやま」
射水市立南太閤山コミュニティセンター
- 6月22日(日) 10:00～12:00
「にほんご広場なんと」
南砺市福光公民館
- 7月13日(日) 10:00～12:00
「日本語教室 in 黒部」
黒部市国際文化センター コラーレ
- 7月26日(土) 10:00～12:00
「日本語教室 in 氷見」
氷見市いきいき元気館内 ワークルーム

外国人のための日本語ボランティア養成講座

- 6月29日(日)～8月3日(日) 10:00～12:00 全5回
南砺市福光公民館
- 8月23日(土)～10月11日(土) 13:00～15:00 全5回
* 3 回目のみ 9月21日(日) 10:00～12:00
黒部市国際文化センター コラーレ

災害時外国人支援ボランティア研修

- 7月6日(日) 13:00～14:30 (環日本海交流会館)
「災害時多言語情報提供のポイント」
講師：土井 佳彦氏
(NPO法人多文化共生リソースセンター東海代表理事)

とやま国際塾

- 7月19日(土)～20日(日)
(富山県呉羽青少年自然の家)
* 高校生対象



日本海学講座 参加者募集中!!

森里海のつながり講座～文化と歴史のつながり～

- 7月12日(土) 14:00～15:30 国際会議場201・202
“うたわれた富山湾～「万葉集」から「おくのほそ道」まで～”
講師：高岡市万葉歴史館 学芸課長 新谷 秀夫氏

高度差4000m森里海フィールド親子教室

- 海講座 7月27日(日) 富山湾
森里講座 8月2日(土) 立山山麓
* 小学3年生～6年生・中学生 親子20組

日本海学講座

- 8月30日(土) 14:00～15:30 サンシップ602～604号室
“日本海のヒラメ稚魚に学ぶ森里海連関学”
講師：京都大学名誉教授 田中 克 氏



昨年のフィールド親子教室の様様

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び 寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についても
よろしくお願い申し上げます。